



CAGLIERO 11

カリエロ



160 2022年 4月

サレジオ会宣教ニュース

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



友人の皆さん、

アフリカの真ん中から、心から、皆さんにごあいさつ申し上げます、復活の喜びを表すこの言葉を、皆さんと一緒に歌う準備をしながら：主は生きておられる！ 主はまことによみがえられた！ この勝利の叫びを通して、私たちの信仰を光で照らし、病と苦しみの状況のただ中において希望をよみがえらせるのは、超越の出来事です。

世界中で、人間らしさに満ちた一人ひとりの女性、男性は、それぞれの存在によって、この希望のしるしなのです。その人々は、差別することなく、互いを思いやります。それは私たちの時代に力強いメッセージとなります。復活された方は、この連帯に開かれた心へと、私たちを招かれます：「だから、あなたがたは、すべての民のところへ出かけて行きなさい」（参照 マタイ28・19）。

■ 宣教促進アフリカ-マダガスカル地域
コーディネーター
リヴァ=イグニナス・フーダ・ビエメ神父,
SDB

注記： 宣教部門は、毎週、サレジオ会が活動する一つの国からその代表的な料理の作り方を紹介する「ボスコ・フード」を用意しています。各共同体で料理を作ってみてください。さまざまな文化への視野を広げるきっかけになるでしょう。

文化、民族への扉としての食



一般的に「cuisine料理／食」という言葉は、特定の国、地域、人々の、特徴的な料理のスタイルや方法と定義されます。それは料理、食べ物の調理のスタイルで、伝統や習慣と結びついた独特の材料や技を用い、特定の文化や地理的な地域に固有な料理を作り出します。伝統的な料理は、**その民族の独特な歴史、生活様式、価値観、信仰を反映します**。文化的なアイデンティティーの表現として、世代を超えて受け継がれていくのです。

私たちは皆、ある文化の中に生まれました。そして自分の文化の料理を食べて成長します。そのため、地元の料理は、私たちそれぞれにとり、自分自身の一部分になるのです。実際、自らの文化の料理を作りつづけることは、自らの民族性を確認することなのです。その料理はまた、望郷の思いを癒やそうとすると、落胆やストレスを抱えているとき、「心癒やす食べ物」になります。したがって、**私たちが受け継いだ遺産に感謝する方法**の一つは、私たちの文化を表す食べ物を喜んで受けとめることです。

文化は、ある人々の集団の生き方、考え方、人間関係のあり方です。人間は変化するので、文化は絶えず発展し、展開します。同様に、料理も絶えず発展し、新たな料理が**革新と文化交流によって生み出されます**。多くの移民が、新しい国で自分たちの伝統料理を作ります。伝統料理を作るのに必要な材料が手に入らないこともあるため、手に入る代替りの材料で伝統的な食事を用意します。また、移民の人たちはレストランを開くと、特定の味や香りの好みを持つより幅広い客層に合わせ、伝統料理を適応させます。こういった変化は、文化的特徴を残すその料理に新たな味を生み出すのです。

世界がますますグローバル化の中で、さまざまな文化の料理がより容易に味わえるようになっています。それによって、それらの文化の料理を味わってみることで、**ほかの文化をよりよく知る**大きな可能性が誰にでも開かれているのです。そのため私たちは、それぞれの料理がその文化において特別な意味を持ち、作る人々にとって特別なものであるということに気づくはずで、実に、食べ物は、単に栄養を摂取するためだけにあるものではありません。それは文化への扉であり、そのようなものとして味わうべきです。

■ 宣教顧問

アルフレッド・マラヴィジャ神父, SDB

振り返りと 分かち合いのために

- 私は、ほかの文化の料理を進んで味わってみようとしているでしょうか？
- どうすれば、ほかの文化に扉を開くよう自分の共同体を助けることができるでしょうか？



Cagliero 11 (カリエロ11)の全バックナンバー：<http://salesians.jp/library/cariero>

トーゴで、 病の人々に寄り添う



シリル神父様、トーゴのいくつかのサレジオ会支部は、医療にたずさわっています。
神父様の診療所に助けを求めに来るのは、どのような人たちですか？

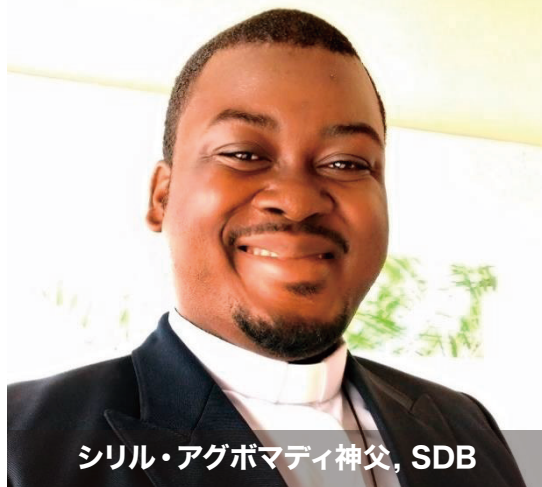
2000年2月11日に開設された「扶助者聖マリア」診療所はサレジオ会の社会福祉事業で、首都ロメのアコデッセワ地区に暮らす人々の医療のニーズに応えるものです。この地区は、港に近いので、多くの近隣諸国からの人々を迎えます（ブルキナファソ、ニジェール、マリなど）。私たちの診療所は、平均するとひと月に1500人の患者を診ています。この地区における、初めての慈善による医療機関です。診療所に通うのは、主に地元の人たち、小教区の人たち、サレジオ会の技術訓練センターの学生、サレジオ会員、そして多くの外国人です。診療所の活動は、一般的な病気（マラリア、栄養失調、貧血、呼吸器感染症、寄生虫など）の初期診療、特定の慢性疾患（糖尿病、動脈性高血圧、鎌状赤血球貧血など）の患者の継続的な診療、高齢者や福祉の対象であるケース、AIDS孤児の支援を中心に行われています。

診療所の人員や財源はどのように確保しているのですか？

現在、診療所のスタッフは、イタリア国籍の正看護師、地元の看護師と准看護師、2人の支援者、トーゴ、フランス、イタリアからの数名のボランティア研修生です。診療所の活動の財源は、主に患者の診察費、何よりも、イタリア、ドイツ、スペインの恩人による寄付です。ドン・ボスコのサレジオ会員は、病気の人々を世話するスタッフに同伴し、支えています。

「ミッション」と言うとき、神父様にとって、それはどのような意味ですか？

私にとって、人の救いのために愛に燃える善き牧者イエス、いつもみ旨に開かれ応えること、牧者の愛の行動的な表現、自己贈与、連帯、特に、イエスを知らない世界中の若者のために父の愛のしるし、良い知らせのあかしとなることに、ミッションという言葉は直接結びつきます。



シリル・アグボマディ神父, SDB

2008年にドン・ボスコのサレジオ会員となる。**トーゴ出身**。現在、アコデッセワのサレジオ会 サン・ドメニコ共同体の責任者。**扶助者聖マリア診療所**のチャプレンとして働くほか、アコデッセワのサン・ベネデット小教区の主任司祭、管区評議員を務める。

ウクライナのサレジオ会員

フ
ォ
ー
ラ
ム

今、このとき、サレジオ会は命の危険にさらされる人々と共におり、
私たちの祈りと支援を必要としています！

- UKR 準管区、ビザンチン典礼のサレジオ会員は26名、いくつかの大きな町：キーウ（キエフ）、ルヴォフ、ドニプロにいます。そのうち、一人の若い実地課程生がイタリア、カステッロ・ディ・ゴデゴに、もう一人、修練生がスロバキアのポプラドにいます。
- ポーランド・クラクフ管区 (PLS)、ローマ典礼の14名の会員が、ウクライナのオデッサ、コロシュティシフ、ペレミシュワニ、ピブルカの5つの支部にいます。



4月 サレジオ 宣教の 祈りの意向

ウクライナの兄弟姉妹のために

ウクライナにおける戦争で命を落とし、苦しむ人々のために。
この対立の責任を負う人々の心が、キリストの愛に触れられますように。

ウクライナに兄弟愛が花開き、人々が分裂を乗り越えることができますように、
私たちはたゆみなく主に願い求めます。 | 教皇フランシスコの祈りの意向 |

世界のために

